



資料 4

キャリア形成プログラムの見直しについて

神奈川県 健康医療局 保健医療部
医療整備・人材課 人材確保グループ
令和7年12月24日

概要と経緯

- 地域医療支援センター運営委員会において、神奈川県の医師確保について協議をした中で、キャリア形成プログラムの見直しについても議論を行った。
- キャリア形成プログラムについては、見直しについては医療対策協議会の協議事項であることから、お諮りする。

【今後の取組の方向性①】

- 地域医療を担う県内4大学の専攻医の確保状況も異なっている。
- 「特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会」の特定機能病院のあり方に関するとりまとめでも、「地域医療への人的協力」の記載があり、地域への医師派遣機能も求められていこととなる。
- 地域に医師を派遣するためには、大学病院にも医師が在籍している必要があり、県内の相対的に医師が不足する地域（A,B群）の近隣に所在している大学の専攻医確保もより重要なのではないか。
- 県内の相対的に医師が不足している地域への専攻医確保、その後の地域への定着を見据えて、キャリア形成プログラムの地域医療実践期間（卒後6年目以降）のA,B群の「大学病院本院以外」の配置方針も見直すべきではないか。

【今後の取組の方向性②】

- 専攻医の確保及びその後の地域定着のために、まずは以下の2つに絞って取組を進めてはどうか。

（診療科に関する取組）

① 総合診療の専攻医確保に向けた取組を検討してはどうか。

⇒ 取組の方針は次頁に

（地域に関する取組）

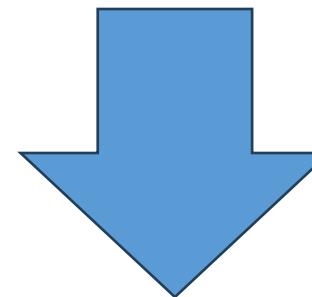
② キャリア形成プログラムの卒後6年目以降（地域医療実践期間）の配置方針のうち、「大学病院本院を除く」の部分を見直してはどうか。

⇒ 必要に応じて医療対策協議会において今後協議

地域枠医師の配置方針（見直し（案））

【令和6年度版】

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		専門研修				地域医療実践		
臨床研修病院 (県内の臨床研修病院)		専門研修基幹施設（県内の基幹施設、連携病院）			地域A、B群（大学病院本院以外の病院） (医師偏在指標上、全国平均を下回る二次医療圏)			



卒後6年目以降は
地域A,B群への配置のみ
大学病院本院での勤務は可能

【今回見直し（案）】

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		専門研修				地域医療実践		
臨床研修病院 (県内の臨床研修病院)		専門研修基幹施設（県内の基幹施設、連携病院）			地域A、B群（大学病院本院以外の病院） (医師偏在指標上、全国平均を下回る二次医療圏)			

【参考】地域枠医師の配置方針（今回見直し（案））

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
臨床研修		専門研修				地域医療実践		
臨床研修病院 (県内の臨床研修病院)		専門研修基幹施設 (県内の基幹施設、連携病院)			地域A、B群 (大学病院本院以外の病院) (医師偏在指標上、全国平均を下回る二次医療圏)			

【令和5年に示された
医師偏在指標での状況】

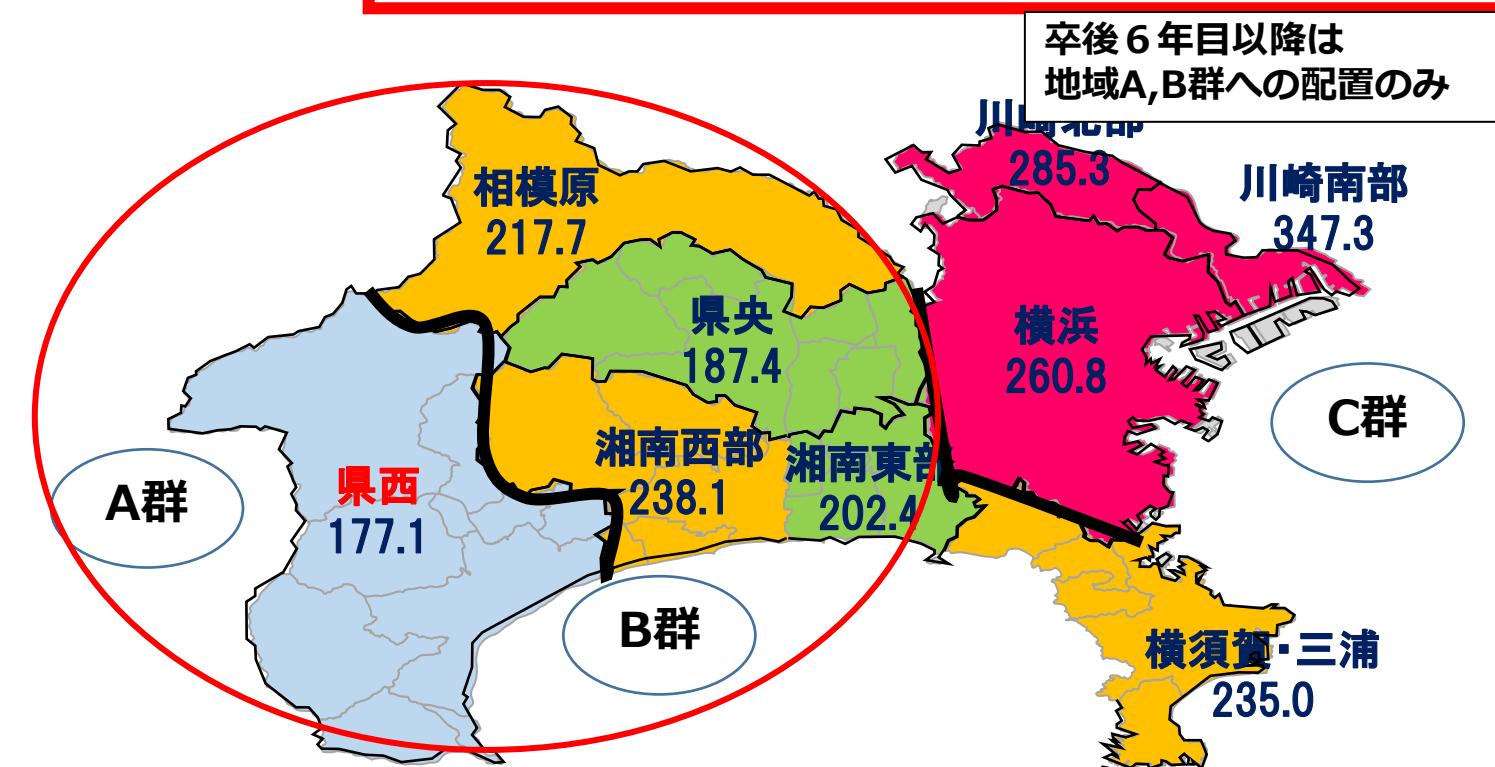
多数区域(上位33.3%)

多数区域・全国平均を下回る

医師少数でも多数でもない区域

少数区域(下位33.3%)

※ 医師偏在指標は3年おきに
変更されるため、指標の変動状
況によっては派遣地域が変更さ
れる場合があります。



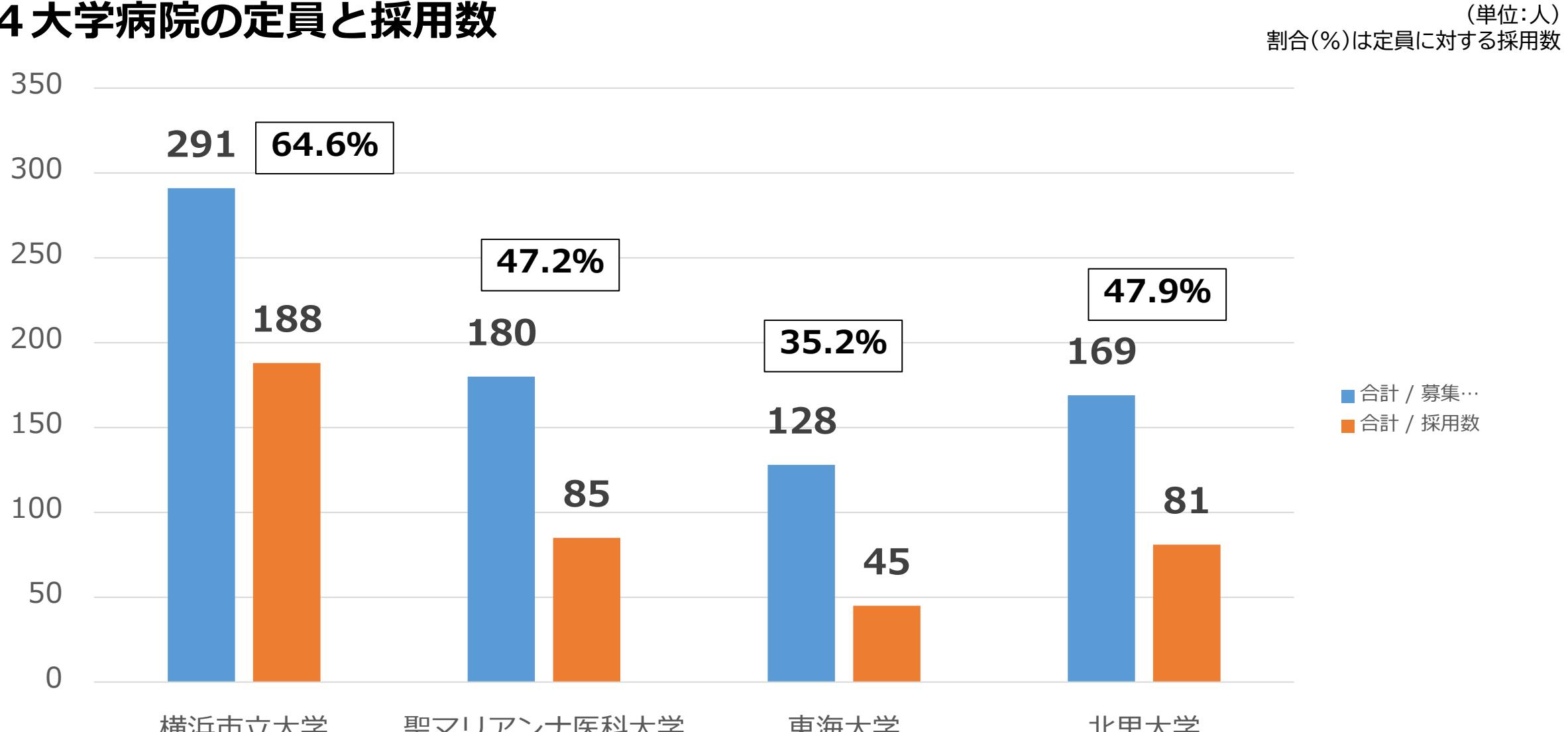
【参考】地域枠（臨時定員）の定員数と入学者数

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
横浜市立大学	定員数	5	5	5	5	8	8
	入学者数	5	5	5	5	8	8
聖マリアンナ 医科大学	定員数	5	5	5	5	7	7
	入学者数	5	5	5	5	7	7
北里大学	定員数	5	5	5	5	5	5
	入学者数	5	5	5	5	5	5
東海大学	定員数	5	5	5	5	5	5
	入学者数	5	2	5	5	5	4
合計	定員数	20	20	20	20	25	25
	入学者数	20	17	20	20	25	24

【参考】専攻医に関するデータ（2025年度）

R7.12.9 令和7年度第1回
地域医療支援センター運営委員会
資料1

○ 4大学病院の定員と採用数



横浜市立大学

聖マリアンナ医科大学

東海大学

北里大学

※県内附属病院及び指定管理病院を含む

(出典)JMSB Online System+ 管理システム「専攻医応募状況」から各年の採用数を基に作成